

## 令和6年度秋田県放課後児童支援員認定資格研修 研修レポート抜粋

(誤字脱字等については校正しているため、原文と異なる場合があります)

### 県南会場

#### 科目 ⑦特に配慮を必要とする子どもの理解

- ◆ この科目では、児童虐待の防止と、子どもの養育に困難を抱えている家庭への気づきが求められていると分かりました。自分の固定観念や経験とは違うので、気づきがあれば運営団体や他の支援員などに相談することが重要で、まずは、きちんと保護者や子どもの話を聞いて、その次へ繋いでいけるようにしていきたいと思いました。
- ◆ 貧困状態は親や子ども本人が隠そうとする。貧困が当たり前になっているので、支援を求めづらいし、求めようと思わないという見えづらさが課題だと感じた。私たち支援員は、子どもを社会全体で育てていくことが重要なんだと思う。児童虐待防止について学び、子どもの様子や親の態度をよく観察し、「気づき」が重要。また、気づいたときは1人で抱え込まず、運営主体や他の職員に相談することが重要。迎える時の保護者への声かけで変化等に気をつけたいです。
- ◆ 児童虐待においては、早期発見が大事なことが分かりました。児童の様子をよく観察することはもちろんですが、迎えに来た保護者の態度にも注意したいと思います。子どもの貧困状態については、見えづらさがあると思いますが、放っておくことは、子どもの学力低下など社会の損失になることを理解しました。子どもの貧困をなくし、見守る体制の中に児童クラブの存在があることを忘れず、支援を行っていききたいと思います。
- ◆ 子どもを取り巻く現状として、児童虐待と貧困について、たくさん知ることができました。どちらも自分が思っている以上に、身近で日常的なものであることに驚きました。なかなかわかりにくく、目に見えないものも多いので、小さな変化であっても気づいたときには情報交換をするなどして、早期発見につなげられたら良いと思います。子どもたちが安心して生活出来るように、社会全体で支援にあたることが重要だと実感しました。
- ◆ 児童虐待の定義の中に心理的虐待も含まれることを知りました。子どもを育てる中で無意識に行われてしまうケースが多いと思います。それが虐待だと思わずに子どもが傷ついて大人になっていく。そして気がつかないうちに、または、気がついていたとしてもそう育てられた子どもの当たり前として繰り返されてしまう。この負の連鎖を止めるために、放課後児童支援員にできることは少ないかもしれませんが、ケースバイケースで一人ひとりをよく見て関わっていききたいと思います。